
電池の女 電池が落ちるまで

アダムの肋骨

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

電池の女 電池が落ちるまで

【著者名】

N2681D

【あらすじ】

「私は電池を下さー。私の電池が無くなる前に電池を下せー。」

アダムの肋骨

私は電池をお下さないでください。

お願いです

私は電池をお下さないでください。

止まりかけた私の身体を動かしてください。

嫌というのなら別に良いわ、

特に貴方に下されられる必要はないの。

ただ、電池が必要なのよ…

私は電池をお下さないでください。

お願いです

一途なお願いです。

私に電池をお与え下さい。

嫌というのなら別にいいわ。

今私が欲しいのは電池だけなの、

そのうち地位も権力も欲するだらうナビ、

今は電池が必要なのよ。

私に電池をお与え下さい。

お願ひです

よこしまなお願いです

私に電池をお与え下さい。

嫌というのなら別にいいわ、

本当は宜しくないけれど、

殺氣がこみ上げてくるけれど、

別にいいの

電池があれば貴方を失くす機会なんて幾らでもあるから、

「」はその為の準備なの。

憎しみのあまりに私が貴方を何処までも追いかけたとしてもそれは
貴方のせいよ

電池が無くなつたとしても私は貴方を追いかけます

わたしに電池をお『え下さい。

お願ひです

薄つぺらなお願いです。

私に電池をお『え下さい。

嫌というのなら別にいいわ。

拒否されるくらいなら電池のかわりに貴方をもらひなさい、それでもいいのかしい。

貴方に拒否権なんてないけれど、

私は優しいの、一応聞いてあげるわ。

それでもここのかじり

私に電池をお与え下さい。

お願ひです

絶対的にお願いです。

私に電池をお与え下さい。

嫌と言つてももつ手遅れよ。

貴方は私を待たせ過ぎたから、

もう私には時間がないから、

だから電池を頂戴、今すぐ頂戴

これは命令よ、早く持つて来なさい

早くしなさい

早く

早く

早く

早矢城

(後書き)

電池が無くなつたとしても私は貴方に電池を求め追い回します。覚悟しておりますよ。

ただし私は単二電池しか受け付けません(笑顔

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2681d/>

電池の女 電池が落ちるまで

2010年10月22日14時17分発行